



科学部 文化庁長官賞受賞！（2022 とうきょう総文）

本校の2年生が授業で課題研究に取り組んでいるように、本校の科学部の生徒たちも放課後に理科室で熱心に研究に取り組んでいます。3年生チーム（野田光希さん、廣瀬綾音さん、中原ななさん）は桜餅（さくらもち）特有のにおいの成分であるクマリンに注目し、クマリンがもつ発芽抑制効果についてそのメカニズムの解明に挑戦しています（研究タイトル「分子構造から考えるクマリンの発芽抑制」）。

3人は佐賀県代表としてその研究成果を8月2日（火）から4日（木）行われました「文化部のインターハイ」である第46回全国高等学校総合文化祭（2022 とうきょう総文）自然科学部門で発表してくれました。当日は全国から各都道府県代表となる高校生たちが一堂に会し、大学生の研究に匹敵するような研究成果を発表していて、そのレベルの高さにも大変驚きました。

科学部の皆さんの研究については、高校生らしい斬新なアイデアと地道な努力、何より分子構造の1つ1つを壊したり作ったりしながら考察を深めた成果が高く評価され、本大会の第2位となります**文化庁長官賞**を受賞しました。科学部3年生のみなさん、おめでとうございます！

今回の受賞は佐賀県初であり、佐賀新聞社様から取材を受けました。右 QR コードからご覧ください。



発表会場にて。ちょっと緊張してます。



ポスターを使って発表しています



閉会式にて

スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会！

SSH に指定されている学校が一堂に会する生徒研究発表会が、8月3日（水）・4日（木）の日程で行われました。今年度は、全国から220校が神戸に集まり、本校からは「小型人工衛星における太陽光パネル展開機構の検証と考案」というテーマで研究を行った江口功記さん、西山龍成さん、横田心海さん、鍋島夏果さんによるチームが参加しました。人工衛星の模型や PPT など効果的に活用しながら行った発表はとても分かりやすく、好評を得ていました。



ポスターセッションの様子